

テレワークの運用でお悩みの皆様へ

～30年以上テレワークを推進する企業の、実際の運用事例から学ぶ～
テレワークお悩みヒント集

2020年5月26日

NECソリューションイノベータ株式会社

営業統括本部

目次

はじめに	P.3
NECグループのテレワーク取り組み歴史	P.4
テレワーク、上手に行ってますか？	P.5
テレワークの「お悩み」の種類	P.6
テレワークレベル自己診断シート	P.7
ヒント1：テレワーク環境・全社の取り組み	P.8
ヒント2：コミュニケーション	P.11
ヒント3：マネジメント	P.15
ヒント4：セキュリティ	P.17
まとめ：テレワークへの取り組みに必要なこと	P.19
ソリューション・ビジネスパートナー	P.21

はじめに

COVID-19が猛威を振るい、社会の価値観が大きくシフトしています。
テレワーク対応は一時的なものではなく、今後、企業に求められる機能の一つになります。

テレワークが 当たり前の社会に

パンデミック対応、ワークライフバランスの向上、
これからの世代の価値観… 今後の「社会の当たり前」
へ対応するための手段の1つが「テレワーク」です

IT環境や会社規程等、テレワーク推進の上で整備する
ポイントは多数ありますが、まずは段階的に導入し、
「走りながら考える」ことが必要です

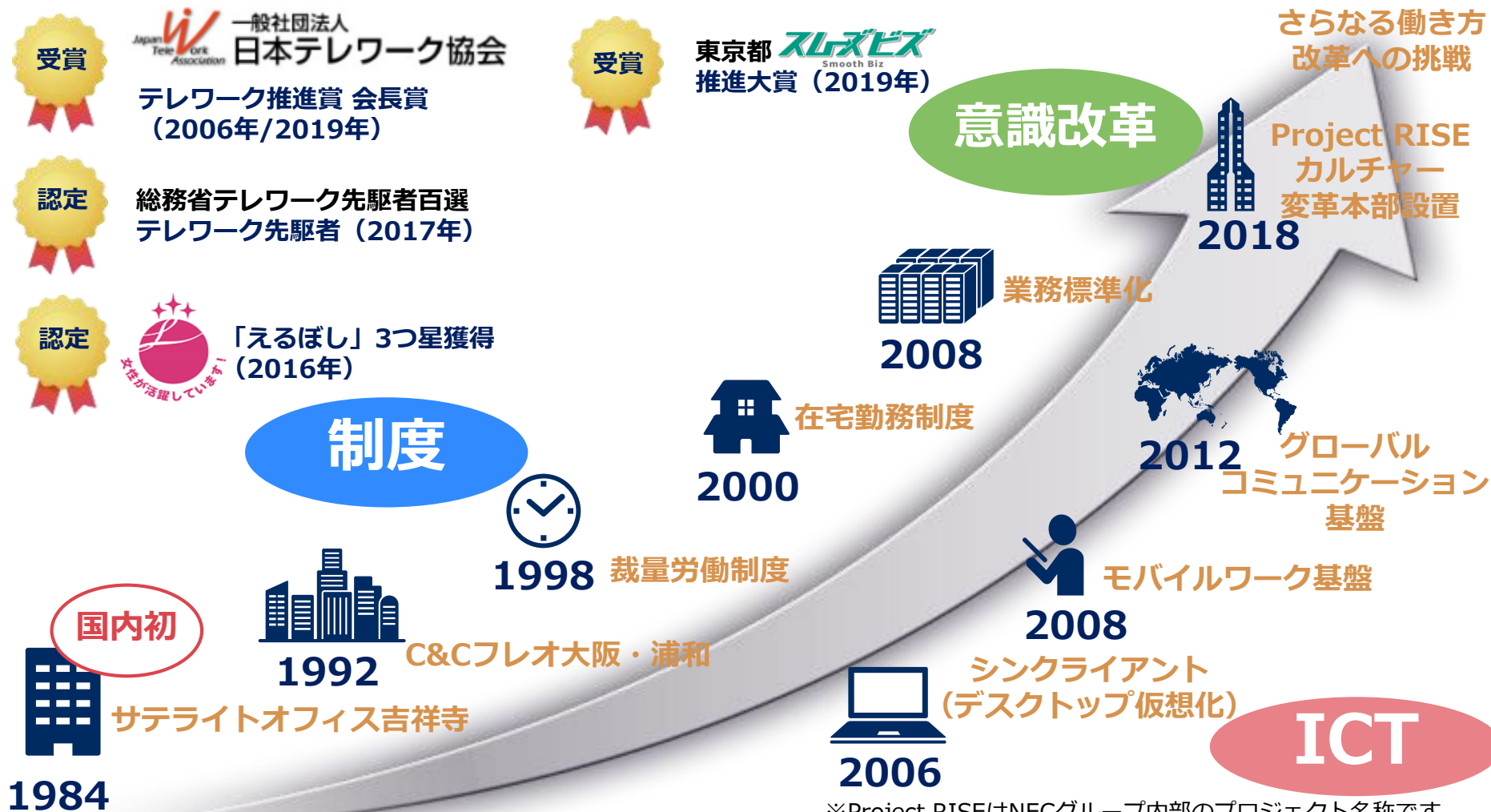
テレワーク推進は 「走りながら考える」

テレワークを進める上での お悩みヒント集

本資料は、テレワークを進める企業が抱えるお悩み
への「ヒント」を、30年以上テレワークを推進する
NECグループの取組み事例を元に整理したものです

NECグループのテレワーク取り組み歴史

NECグループは、30年以上にわたり従業員が働きやすい環境を整備することで、テレワークに取り組み、働き方改革への挑戦を続けています。



※Project RISEはNECグループ内部のプロジェクト名称です

テレワーク、上手くいってますか？

「テレワークをもっと上手く活用できたら…」と、テレワークに関するご不安をお聞きする機会が増えてきた中で、よくお聞かせいただくお困りごとを以下にまとめました。

テレワーク環境導入、
まず何からしたらいいの？

社員がちゃんと働いている
か分からない…！

コミュニケーションを密
にはかりたい！

必要なツール、システムを
もっと知りたい

セキュリティに不安があり、
業務に制限を掛けている・・・

テレワークの
相談窓口があれば…

この中に、貴社にも当てはまることはございますか？

テレワークを社員に
使ってもらえない

会議で議論が活発
にならない…

会社への
帰属意識が
低下しそう…

離れた社員の
健康状態は大丈夫？



情報漏洩や盗難、
紛失しないか不安…

テレワークの
社内ルールは、
どうすればいいの？

離れたメンバ
で作業ができる？

テレワーク導入経験が
豊富な企業の 意見が聞きたい！

テレワークの「お悩み」の種類

皆様のテレワークの「お悩み」を5つの分類に分け、分類毎にヒントをご用意しました。
ヒントを活用し、**安心且つストレスフリーに、業績と従業員の働きやすさを両立**しましょう。

テレワークの「お悩み」を解決する5つのヒント

テレワーク環境・ 全社の取組み

テレワーク環境導入、
まず何からしたら？

テレワークを社員に
使ってもらえない

01

➡ P.8へ

コミュニケーション

コミュニケーション
を密にはかりたい

離れたメンバで作業
ができる？

会社への帰属意識が
低下しそう…

会議で議論が活発に
ならない…

02

➡ P.11へ

マネジメント

社員がちゃんと働い
ているか分からない

離れた社員の健康状
態は大丈夫？

03

➡ P.15へ

セキュリティ

セキュリティに不安
があり、業務に制限
を掛けている

情報漏洩や盗難、紛
失しないか不安…

04

➡ P.17へ

ソリューション・ ビジネスパートナー

必要なツール、シス
テムを知りたい

テレワークの
相談窓口があれば…

テレワーク導入経験
が豊富な企業の意見
が聞きたい！

テレワークの社ルー
ルは、どうすれば？

05

➡ P.21へ

テレワークレベル自己診断シート

まずは以下のテレワークレベル自己診断シートを活用し、貴社のテレワークレベルをチェックしてみてください。

テレワークレベル

高

テレワーク環境・全社の取組み	コミュニケーション	マネジメント	セキュリティ	ソリューション・ビジネスパートナー
☐ ノートPCに必要なデータを保管しテレワーク（週に数回の出社必要） ☐ リモートデスクトップ環境の使用可能 ☐ テレワークについて従業員と合意済み ☐ 社内メンバとWeb会議可能 ☐ 情報共有環境あり ☐ 取引先との情報共有環境がある	☐ 定例報告、オンラインミーティングを実施している ☐ 不定期な連絡を適度に入れている ☐ オンライン上での小集団活動に取り組んでいる ☐ Web会議やチャットで、ワンテーマディスカッションを実施 ☐ Web会議のファシリテーション研修に取り組んでいる	☐ 電話、メールでの勤怠報告 ☐ PC起動のログ把握 ☐ オンラインミーティングの開催が可能 ☐ グループメンバ全員の予定が把握可能 ☐ 予定、実績報告を定例化している ☐ 健康面も把握可能	☐ 暗号化USBを使っている ☐ セキュリティルール、規程がある（情報持ち出しルール） ☐ 持出PCのディスクを暗号化している ☐ USB等外部デバイスを無効化している ☐ ファイルの暗号化を実施している ☐ シンクライアント端末を導入している	<調達方法> ☐ ソールベンダ・販売店の提案から採用 ☐ 部門からの要請に元づき選定を実施 ☐ 計画に元づき選定（RFP）を実施 ☐ 外部と協議してRFPを作成し調達 <パートナー> ☐ 複数ツール提案可能 ☐ 就業規則、補助金等の相談可能

離れていても「ONE TEAM」！

ヒント1：テレワーク環境・全社の取組み

POINT

- テレワーク環境の導入は意外と簡単
- トップからの利用促進のメッセージングとテレワーク文化醸成が必須

ヒント1：テレワーク環境・全社の取組み「環境整備」

テレワーク環境準備は意外と簡単です。実現のポイントは、「社内システムが使える」、「無償アプリも駆使して、各ツールを活用可能にする」ことです。

- ・ 社外PCから社内PCへリモート接続
- ・ スマホ単独利用も積極活用
- ・ 無償アプリの活用
- ・ チャットツールで意思疎通
- ・ まずは導入、普及後にツール再選定

まずは社外のパソコンからして、テレワーク環境を実現

Web会議等はスマホ利用でどこからでも参加可能

会議やミーティング等、可能な範囲で無償アプリも活用

これまでの対面、電話等のコミュニケーションはチャットで代替

「スピード重視」で導入後に、IT部門で的確なツール選定を実施

サテライトオフィス勤務



テレワーク環境ソリューション
RemortView
ThinclST
NEC Cloud DaaS
VersaPro
Zoom
Teams, etc.

ヒント1：テレワーク環境・全社の取組み「取組み事例」

テレワーク実現には、環境整備のほか、**全社の取組として「従業員の意識改革を推進し、リモート文化を醸成すること」「業務や企業文化にあったルール作り」**が重要になります。

●取組み事例

・全社の方針として導入目的を共有

導入目的を明確にして全社員と共有、粘り強く従業員の利用をアシスト
経営層からのテレワーク啓蒙/情報発信、従業員の声収集、フォロー等

・ノウハウ称賛と横展開で事例共有

活用ができている部門やチームの称賛、事例を横展開

・出社メンバを限定する

ハンコ押印や荷物受取は、当日出社しているメンバが臨機応変に対応

・現就業規則の中で見直しを実施

テレワークはオフィス勤務と労働法規が同じ
まずは今ある就業規則の範囲内での見直しを実施

・私有時間を柔軟に設定

フレックス、コアタイム制度等の設定、育児・介護可能な時間創出



ヒント2：コミュニケーション

POINT

- 「短時間、高頻度のWeb会議定例化」での顔の見える場の設定
- 「電話、メール、チャットのいいところ取り」ツールでチームの生産性を高める
- ツールの中で雑談も含む密なコミュニケーションを取る

ヒント2：コミュニケーション「Web会議(ZOOM)ヒント集」

テレワークでは、対面でのコミュニケーションとは異なるコツがあります。
Web会議のツール（ZOOM・Teams等）を活用して、意図的に顔を合わせましょう。

- ・ **「顔出し短時間Web会議」定期開催** 週2～3回程度開催し、顔を合わせる機会の減少をカバー
互いに健康状態や仕事の状況を把握/共有
- ・ **ストレス低減のためのTips活用** 対面での会議とは異なる工夫を組み合わせ、スムーズに議事進行

Tips集

Tips①：カメラの位置 目線と同じ高さ

画面の高さの2/3程度の位置に
目線が来るようにします

**Tips④：目線
意識的にカメラも見ろ**
PC画面を見ていると、
伏し目がちになります

**Tips⑦：発言方法
「チャット」機能活用**
会話の流れに乗れず、上手く発言できない
ときは「チャット」機能で発言します

Tips②：ファシリテータ 発言者のバランスを意識

対面の会議よりも、「発言していない人は
いないか」を意識して、発言を促します
チャットの投稿も適宜読みます

Tips⑤：発言時ルール 氏名を名乗った後に発言

参加者が多い場合は、誰の発言か
分かりにくくなるため、
名乗った後に発言するようにします

Tips③：映像無しの場合 写真を登録

映像が出せない場合、
写真を登録しておきます

Tips⑥：映像・音声 スマホから出力

Web会議の音声と映像はスマホ
にすると高品質となります
一人でスマホ+PCの2台から
参加することもあります

**Tips⑧：会議共有
「レコーディング」機能活用**
重要な会議はレコーディングを行い、
不参加メンバーに後日共有します

Web会議ツール
ZOOM

ヒント2：コミュニケーション「チャット(Teams)ヒント集」

テレワークでは、気軽にコメントでき、議論の流れが見えるツール（Teams等）を活用して、効率よくチームでディスカッションしながら業務を進めます。

- メールや電話、チャットの「良いとこどり」をした「**コラボレーションツール**」を活用
- 「**チャット**」機能で**1:1の雑談**も

早い段階から成果物を共有、誤解や後戻りの少ない業務遂行

N:Nのコラボレーションだけでなく、時には雑談でコミュニケーション

Tips集

Tips①：チーム作成
業務単位、仕事単位で作成
参加メンバは必要に応じ追加削除します
投稿はすべてチームメンバに公開されます

Tips②：トピックス
タイトル必須
タイトルをつけて話題を明確にします

Tips③：作成資料
早い段階で共有
早い段階の資料を共有して
議論の方向性を固めていきます

Tips④：反応方法
「いいね！」活用
賛同の意思表示や、
「かしこまりました」等の同意コメントの代理として活用

Tips⑤：チャネル
カテゴリー毎で作成
業務単位、仕事単位の下に、
「チャネル」を作ります

Tips⑥：返信方法
同じトピックスへ返信
一連の会話を一つのトピックスに集約させ、
議論が混乱してしまうことを防ぎます

コラボレーションツール
Teams

ヒント2：コミュニケーション「取組み事例」

その他にも離れた場所でのコミュニケーションをよりよくできるヒントがあります。すべてを明文化する必要はありませんが、共通の考え方として組織に根付かせましょう。

●取組み事例

- **会議の目標終了時刻を最初に共有** 会議時間は最長でも1時間以内
- **個人のスケジュールを共有** 会議調整にかかる時間の削減
- **各ツールの用途を定義** ex)メールは社外、社内はコラボレーションツール等
- **「スタンプ」「いいね」の積極利用** 対面同様の親しみをコラボレーションツールでも表現
- **システム部門が現場の意見傾聴** 現場の声に耳を傾け、リモートワーク環境の改善サイクルを回す
- **「ZOOMリモート懇親会」開催** 組織の一体感を生む活動を実施
- **「身だしなみ」もWeb会議マナー** 対面ではないWeb会議の中でも、TPOをわきまえた身だしなみを意識
- **互いの暮らしへの配慮と思いやり** テレワーク環境は自宅が多く、環境も様々ということを互いが理解



Work only place



Life & work place

ヒント3：マネジメント

POINT

- まずは従業員からの業務開始・終了報告で働き方の「見える化」を。
- PCの稼働時刻など採取し、段階的に勤務時間チェックを自動化。

ヒント3：マネジメント

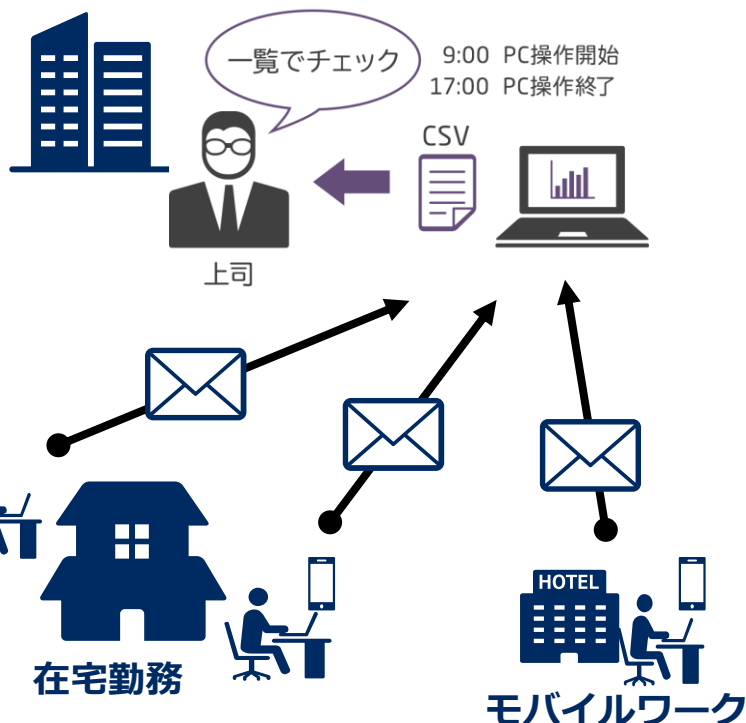
まずはメンバの働き方を見える化することが、テレワークマネジメントの基本です。
対面でないからこそ、「見えるコト」が必要です。

- **業務開始/終了報告への+α**

業務開始時は「当日の業務予定」＋「体調や一言」、
業務終了時は「当日の業務実績」＋「本日の所感」を報告することで、
親密なコミュニケーション生産と、業務内容・健康状態を見える化

- **PC操作時間の「実績」を取得**

サービス残業防止＋テレワーク環境下でも仕事の生産性をキープ



- **業務開始時**

〇〇です。本日のテレワークを開始します。
体調は良好。今日は定時に切り上げ、溜まっていた本を読みたいです。

9:00-11:00 ××提案書レビュー
11:00-12:00 ▼▼Web会議
13:00-15:00 メールマーケティング会議
15:00-17:00 製品プロトタイプレビュー

- **業務終了時**

〇〇です。本日のテレワークを終了します。
予定通り業務しました。
かなりタイトなスケジュールをこなしたので、疲労感ありますが、今週中になんとかかなりそうです。これから溜まっていた本を読みます！

マネジメント関係ソリューション
**NEC働き方見える化
サービスPlus**

ヒント4：セキュリティ

POINT

- 「運用ルールの徹底」と「システム的対応」の両輪が大切。
- 利便性と安全性のバランスを。
- セキュリティ事故は「人」が起こす。
- セキュリティ事故防止から始めて、事故発生時への対応策を

ヒント4：セキュリティ

セキュリティ対策は「運用ルールの徹底」と「システム対応」の両輪が必要になります。

●運用

- 事故時の報告ルールの徹底
- セキュリティ教育の定期開催
- セキュリティ事故を想定した対策
- 社内PC持出者の把握・管理

万が一のセキュリティ事故時のエスカレーション方法明確化+全社員と共有教育に加え、パスワード定期変更/パスワードポリシー定義/生体認証導入もリモートでのデータ削除/端末ロック等もしもの事態を想定した対策
社内PC持出者のリスト化、現状を把握

●システム対応

- ウイルス対策・OS最新化は必須
- 私物端末にも同レベルの対策
- 利便性と安全のバランスを考慮

最低限の対策として必ず実施
個人端末の業務利用（BYOD）へのセキュリティ対策も例外としない
外部記憶デバイス利用の制限、ファイルの暗号化等



セキュリティ関連ソリューション
CylancePROTECT
NeoFace Monitor
遠隔データ消去サービス
FDE、4thEye
NonCopyForUSB
SecureID

まとめ：テレワークへの取組みに必要なこと

まとめ：テレワークへの取組みに必要なこと

テレワークを企業文化として根付かせるには、
「テレワーク環境」、「見える化」、「意識改革」を意識した取り組みが大切になります。

「テレワーク環境」

パソコン、スマホ、アプリ
セキュア環境
運用・ルール等



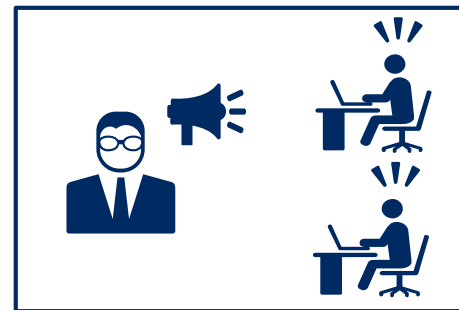
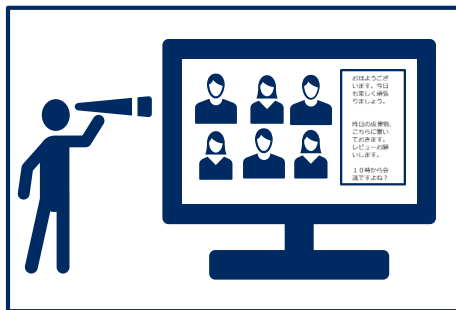
「見える化」

メンバーの働き方、体調、
悩み、進捗等



「意識改革」

全社、上司含めた働きかけに
よる従業員への気づき促進



ソリューション・ビジネスパートナー

テレワークソリューション一覧

デ = 画面デモあり
ト = 無償トライアルあり

貴社のテレワーク実現をサポートできるソリューションを、以下にまとめました。
実際の画面デモや無償トライアルのご相談も、お気軽にお声がけください。

テーマ	カテゴリー	概要	ソリューション
テレワーク環境	リモートアクセス	社外PCやスマホから、社内自席PCのリモート操作	RemortView ト
	シンククライアント	私有PCや既存PCをセキュアなシンクラ端末化	ThinclST
		仮想デスクトップをクラウドで提供且つ運用不要	NEC Cloud DaaS
	テレワークPC	テレワーク向け軽量モバイルシンクラ端末	VersaPro Windows10 IoTモデル
コミュニケーション	遠隔会議	高品質/安価/簡単利用のクラウド型Web会議サービス	Zoom デ ト
	コラボレーション	チャットベースでのスピーディーな社内コラボレーション	Teams
	資料共有	社内外とのセキュアで大容量の資料/動画共有	PROCENTER デ ト
マネジメント	勤怠管理	働き方改革法案にも対応可能なクラウド型勤怠システム	勤革時 デ ト
	勤務状況管理	テレワーク時の勤務状況(PC稼働時間/業務量等)の見える化	NEC働き方見える化サービスPlus デ ト
セキュリティ	ウイルス対策	テレワーク端末へのマルウェア対策	CylancePROTECT デ ト
	なりすまし防止	社外からの社内システムアクセス時の顔認証ロック	NeoFace Monitor デ ト
	遠隔データ消去	PC紛失時の遠隔データ消去	遠隔データ消去サービス
	PC持出対策	FAT PCの持ち出し対策	FDE、4thEye ト
	USB持出対策	USBによる情報持ち出し対策	NonCopyForUSB ト
	認証強化	VPCなどの認証強化	SecureID ト

下記政府補助金活用のご支援も可能ですので、お気軽にお声がけください。

● 持続化給付金（本年度補正予算確定後）

- ・ 条件 : 売上が前年同月比で50%以上減少している方
- ・ 給付額 : 法人は200万円以内、個人事業者等は100万円以内

● IT導入補助

- ・ 条件 : 中小企業・小規模事業者等
- ・ 補助額 : 30～450万円

● ものづくり・商業・サービス補助

- ・ 条件 : 中小企業・小規模事業者等
- ・ 補助額 : 原則1,000万円以内

お問合せ先

テレワークについて、ご相談のある方は、以下お問合せ先へご連絡ください。

●お問合せ先

NECソリューションイノベータ株式会社

お客様窓口： g_customer@nes.jp.nec.com



見えない未来は、
ここで見つける。

あなたの安心のために、あなたの夢見るチカラのために、

あなたの暮らしの土台になりたい。

私たちはまだ見ぬ課題もここで発見し、

ICTをとおして笑顔が生まれる世の中を

創造していきます。

NECソリューションイノベータ

 **Orchestrating** a brighter world

NEC